

令和5年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立矢口中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・スモールステップを多く活用したことで、知識や技能の習得を推進することができた。
- ・ICT 機器を活用することができるようになってきた。

(2) 課題

- ・体力テストの結果から、ボール投げ、瞬発力、持久力に課題がある。
- ・知識は理解しているが、その知識を活用して実際の実技活動を行ったり、生活に生かしたりすることができていない生徒が多い。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元に適した準備運動や補強運動を取り入れて基礎体力の向上を図る。 指導内容を明確化し、学習カードを用いて授業ごとの振り返りを充実させて知識と技能の定着を図る。	ペア活動やグループ活動を取り入れて協同的な学びの場を多く設定し、言語活動の充実を図る。 模範を示し、ICT 機器を活用して自他の動きを観察する場面を設け自己の課題や課題解決の手立て考える力を育む。	個に応じた課題と、それぞれに適した課題解決のための場を自己決定して、主体的に学習に取り組む力を育む。 体育的行事と関連を図って、授業で学んだ知識や技能を活用する力を育む。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎体力向上のため、授業導入での補強運動を継続して取り組む。 授業ごとのねらいと振り返りを丁寧に行い、知識理解と技能の定着を図る。	ICT 機器で実技の様子を撮影し、動作の分析等を行い、自己の課題を的確にとらえる力を育む。 グループ活動を段階的に行い、2年次では3～4人のグループの中で表現できるようになる。	体育理論を適宜行い、運動の行い方、学習の仕方を理解させることで、主体性を育む。 また、習熟度に合わせて課題の設定や声掛けを個別に行うことを重視し、運動に取り組む態度を育む。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
安全に留意しながら知識や技能の習得を図る。 視聴覚教材 (ICT 機器も含む) を有効活用することで知識や技能の定着を図る。	タブレットでゲームや実技の様子を撮影し、試合分析をさせることで自己の課題について考える時間を設ける。 グループ活動を取り入れ、課題を発見し、自分の考えを他者に伝える場面を設けていく。	グループ活動を適宜取り入れ、主体的に活動する場面を多く設定することで主体的に取り組む態度や姿勢を養う。保健と体育を関連付けた指導を行い、実生活に活かしていける場面づくりに努める。